

盲ろう者はどのように情報端末を使用するのか

皆さんは、ニュースや天気予報、流行など様々な情報をどのようにして手に入れているだろうか？多くの人が情報の取得にスマートフォンやパソコン（ニュースサイトやSNS）、テレビ、ラジオを使っているだろう。しかしこれらの情報取得手段は、聞こえること、見えることが前提となっていて、盲ろう者が情報を取得するのは難しい。デジタル化が進み、インターネットが普及する中で盲ろう者はどのように情報を手にしているのだろうか。

○点字ディスプレイ

ピンが上下に動いて点字を表示する。メモや読書などでの使用に加え、パソコンやスマートフォンと接続することができ、文字情報を点字で表示してインターネットやメールなどのサービスを使用することができる。



○点字携帯端末

一般的なスマートフォンのような画面はなく、点字ディスプレイがついている。パソコンへの接続の必要はなくこの端末のみで使用可能。Androidスマートフォンと同じOSを搭載しているものもあり、Google マップや ABEMA TV など多くの人が使っている人気のアプリが使用できるものがある。



○スクリーンリーダー

パソコンやスマートフォンの画面の内容を読み上げたり、点字ディスプレイをつなげると点字で内容を表示したりするソフト。iOS や Android に標準搭載されている。

これらの機器を使用することで盲ろう者が情報端末からの情報を取得することができる。しかしながら、閲覧していたサイトに画像があった場合には画像の理解は困難である。また、これらの機器はすべて点字を使用して内容を理解するものであったために、点字を理解できない人には対応していない。加えてこれらの情報支援機器は高価なものが多く、利用者の負担が大きい。このように、課題点も多くあげられる。

オンラインが主流になった今、盲ろう者もインターネット上などから情報を得ることが必要だと感じる。課題点を認識してよりよい工夫がされるようになるとよいと思った。学校教育ではこれらの機器の使用について学習することも有効だと感じた。

(参考)

ケージーエス株式会社 HP : <https://www.kgs-jpn.co.jp/archives/welfare-products-category/braille-display>

ENILNO ホームページ : <https://enilno.jp/all/extra-braillesense.html>

DNF ホームページ : <https://www.dinf.ne.jp/d/2/278.html>